



2月の園だより

雪空の下、晴れ間を見て外遊びを楽しむ子どもたち。

「あ～楽しかった」とほっぺを真っ赤にしながらも冬の遊びを満喫しているようです。これからも、天気の良い日は戸外遊びをして体力づくりをしていきたいと思います。

今月もよろしくお願ひします



- ジャンプスーツや帽子の記名や掛けひもの確認をお願いします。また、手袋は紛失防止のため紐をつけて下さい。
- 登園時、厚着になったり、裏起毛の上着などになったりしていませんか。汗をかいたり、体温が上がったりするお子さんもいますのでなるべく薄着で登園させてください。

発表会のおれい

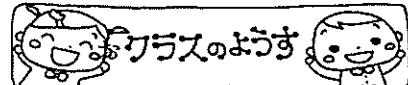
1月28日の発表会には、天候の悪い中おいでどうございました。また、衣装などのご協力もありがとうございました。一人一人の個性あふれるお遊戯をご覧いただけたのではと思っております。緊張で立ちんぼになったり、涙が出てしまったりした子どももおりましたが、最後までステージで頑張ってくれた姿に成長を感じることができました。

これから、無理なく楽しんで進級に向かえるよう、保育をしていきたいと思っています。



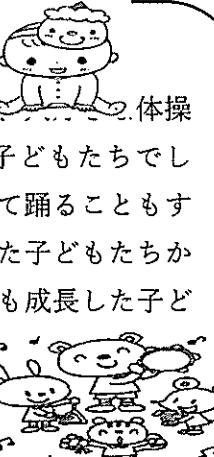
おしらせ

2月20日(月)～3月3日(金)までの2週間
秋田大学の学生さんが保育実習にはいります。昨年の夏にも実習できていた学生さんです。よろしくお願ひします。



ひよこ組 「初めての発表会」

発表会では、名前を呼ばれて返事をした! 体操を楽しんだりといつも通り元気でかわいい子どもたちでした。大勢の大人の前に立つことも、衣装を着て踊ることもすべてが初めてでしたが、泣かずに堂々していた子どもたちからは、逞しさを感じました。また一つ心も体も成長した子どもたちでした。



りす組 「さあ、やってみよう」

かばんをロッカーに片づける、靴下を脱ぐなど身の回りの事を自分なりに頑張っている子どもたち。できたことを保育者も一緒に喜ぶと嬉しそうにしています。

トイレにも少しずつ慣れていくように、便器に座る機会を作っているところです。

お家でも、身の回りの事が自分でできるよう、声を掛けてあげてください。



うさぎ組・こあら組「発表会！大成功」

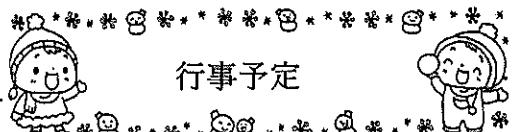
発表会でお父さんやお母さんに見せたいと張り切っていた子どもたち。練習はもちろん、当日頑張る姿に職員も元気をもらいました。「3びきのこぶたやろう」「みんなで踊ろう」と遊びの中で発表会ごっこを楽しむ姿が見られています。発表会の余韻はもう少し続きそうです。

また、今までできなかつた雪遊びも「雪だるま作りたいね。」「そりで遊ぼう」と保育者や友だちと盛り上がっていきます。これからも、体調面に気を配りながら、無理なく雪や冬の自然に触れ親しんでいきたいと思います。



令和5年1月31日

学校法人 明正学園 さかき保育園



3日(金) 豆まき集会

7日(火) 発育測定

15日(水) 避難訓練

22日(木) なかよしランド

27日(月) 誕生会

4日(土) 幼稚園の入園説明会があります。

(うさぎ組・こあら組)



1歳 お誕生日のお友達はいません

2歳 10日 山田楓華(ふうか)ちゃん

3歳 4日 友政柊吾(しゅうご)くん
7日 安保琉唯(るい)くん
14日 大塚悠仁(ゆうじん)くん
19日 高橋姫花(ひな)ちゃん





● 2月3日は節分です

● 節分って何？

もともと「季節を分ける」という意味で、立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日をさしていました。現在は、節分という立春の前日の2月3日をさします。

● なぜ豆をまくの？

鬼に豆をぶつけることより、邪気を払い一年の健康を願うという意味があります。炒った大豆を巻くことが多いですが、東北地方では落花生をまくこともあります。自分の歳の数を食べると病気にならいと言われています。しかしながら、近年は乳幼児の豆、ナッツ類の誤嚥事故がおおいので、家の中にまいた場合、拾って口に入れないと十分に気をつけましょう。5歳以下には食べさせないほうがいいといえます。

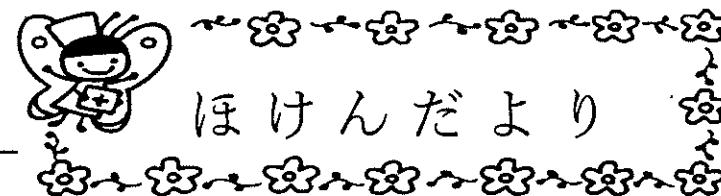
● イワシの頭・・・？

イワシの頭を柊（ひいらぎ）の枝にさして飾ると、柊のとげやイワシのにおいを嫌がって、鬼が逃げだしてしまうそうです。



● 恵方巻・・・？

その年の恵方（吉とされる方角）を向いて、無言のまま願い事をしながら丸かぶりする巻きずしのことをいいます。もともとは関西の食習慣でしたが、ここ数年で急速に広まりました。丸かぶり寿司、恵方寿司ともいいます。今年の恵方は「南南東」です。



インフルエンザ

秋田県内は、インフルエンザの流行期に入っています。

今のところ園での感染の報告はありません。インフルエンザは、咳やくしゃみからインフルエンザウイルスに感染して発症します。

ウイルスがのどの粘膜につくと30分で増え始め、1～2日で症状が出ます。感染力が強いため爆発的に流行するのが特徴です。

● インフルエンザの予防について

・栄養と休養を十分に取る

体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。

・人ごみを避ける

病原体であるウイルスに近寄らないようにしましょう。

・加湿器などで、乾燥を避ける

乾燥していると、ウイルスが長時間空气中に漂います。

・マスクを着用する

のどや鼻の湿度を保つことで感染しにくくなります。咳やくしゃみの飛沫から、人に感染するのを防ぐ効果があります。

・手洗い・うがいの励行。手指のアルコール消毒も効果があります。

● 冬も水分補給が大切です。

インフルエンザや冬の風邪のウイルスは乾燥が大好きで、湿度が高いのが苦手です。こまめな水分補給は、鼻やのどの粘膜を潤し、ウイルスが体の中に侵入しづらくなります。また、侵入したウイルスを鼻水や痰と一緒に外に出しやすくしてくれます。発熱・下痢・嘔吐などの症状がある時は、脱水を予防するためにいつも以上に水分補給が必要です。